

NPO 自立支援センター ふるさとの会

2008.0325
【第3号】



これはHTML形式のMAILです。オンラインで無い場合は画像が表示されない可能性があります。

[HOMEPAGE](#)

[SCHEDULE](#)

[EVENTetc](#)

※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。
今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。
ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

INDEX

- ① 就労サポートホーム「なずな」リニューアルオープン!
- ② 利用者さんの声 番外編 東駒形荘 故 茂木貴茂さん
- ③ 居住支援・地域ケア事業者懇談会 報告
- ④ 桜井旅館開設準備中!
- ⑤ 今月のボランティア

① 就労サポートホーム「なずな」リニューアルオープン!

3月1日に就労支援ホーム「なずな」がリニューアルオープンしました。
NPOふるさとの会が介護事業所である有限会社ひまわりと提携し、「ヘルパー資格取得支援プログラム」を若年不安定就労者に提供しています。同プログラムでは、希望者に低額の宿泊施設に入居してもらったうえで、ヘルパー2級資格取得と訪問介護事業への就職をサポートします。
開設に当たって責任者の石神職員は「和気あいあいとした、安心できる居場所作りを目指します」と抱負を語ります。

現在、すでに1名の方が入居しています。

(辻 真)



② 利用者さんの声 番外編 東駒形荘 故 茂木貴茂さん

東駒形荘を利用されていた茂木貴茂さんが心不全により、1月30日に亡くなりました。笑顔が素敵で友達思いの方でした。

私が駒形荘で知り合ったころの茂木さんは、普段は穏やかな笑顔で毎日ニコニコされており、週3回のデイサービスを楽しまれていましたが、デイ、食事、喫煙以外は居室に引きこもり、声かけに対し、突然怒ったりと、精神的に不安定でした。

2002年1月21日にふるさとあさひ館に入所されてから、老人ホーム等、自分のあった場所をさがし、2006年5月12日に東駒形荘へ来られました。

当初は共同部屋から個室になったことと、他者との関わりが少なかったことから、引きこもりがちになったと考えられます。他の利用者さんも引きこもりがちなることもあり、生活の活性化、生きがいを持っていただきたいと思い、東駒形荘では個々の望む生活に近づけるよう、館内部での関係作り、地域との関わり等を構築できるようにいろいろなイベントを計画していきました。ハロウィンパーティーやクリスマス会、初詣等、季節に合わせたイベントに、茂木さんも楽しそうな笑顔で参加されていました。イベントの中で同じ利用者同士の会話、友情が芽生え、日常生活からも笑顔、会話の絶えない生活が出てきたように感じました。地域との関わりでは毎日喫茶店にいき、喫茶店のオーナーから気にかけていただき、喫茶店に行かなかった日は具合が悪いので

はと心配され、駒形荘まで来られることもありました。仲の良い友達とは今日はどうだった、明日はどうするといった会話から、毎日おたがいを気にかける存在になっていました。地域との関わりや、館内部での利用者同士の友情から、最近の生活が生きがいのあるものであり、幸せに生活できていたように思えます。とくに認知症予防合宿〔温泉旅行〕では、春に鬼怒川温泉、秋に那須温泉と行き、おいしい料理に温泉、カラオケ等を楽しまれ、幸せそうな笑顔がいまでも忘れられません。また今春は草津温泉を計画しており、楽しみにされていたのに残念です。

茂木さんの笑顔、気遣いが、駒形荘全体の活気につながっていました。利用者さん同士の笑顔、活気があったからこそ、安定した、楽しい生活を送ることができたのだと思います。

最後に心に残る印象的な出来事とし、荷物の片付けに娘さん、妹さんが東駒形荘を訪れた際、認知症予防合宿での温泉ツアーの写真を見て、「あっ、おとうさん」「楽しそうだね」と次々にくい入るように見ていたことと、生前茂木さんと仲良くしていたKさんにも感謝の言葉を掛け、思わずKさんも涙を流されていました。最後のお別れにもKさんが利用者代表として出席され、友情が培っていたことは特に印象的でした。

引きこもりの生活から、活気のある生活へ、そして最後は苦しまず、静かに永眠されました。数々の思い出、笑顔に感謝しつつ、ご冥福をお祈りいたします。
(榊澤正彦)



クリスマス会でお好み焼きをたのしむ茂木さん



鬼怒川温泉での認知症予防合宿では
自慢ののどをきかせてくれました



穏やかな笑顔が茂木さんのトレードマークでした

③ 居住支援・地域ケア事業者懇談会 報告

22日(土)ふるさとの会本部研修室にて、「居住支援・地域ケア事業者懇談会」を開催しました。山谷地域を中心に、各地域の現場で医療、看護、介護、生活保護などに携わる60名の方々がご出席されました。

冒頭で、ふるさとの会の佐久間事務局長が、ホテル三晃のこの間の入居者の状態の変化を問題提起しました。車椅子使用者、認知症のある人など、以前に較べて入所者の状態が重篤化している問題です。問題提起を受けて、各出席者の方々からそれぞれの報告・意見・提案が出されました。共通する問題として挙げられたのが、退院・退所後の住居の確保の問題でした。

一方、受け入れる側からの問題として、三晃の責任者から職員の「疲弊」の問題が出されました。それを受け、医師の方からも「日本の病院の疲弊」の状況が報告されました。受け入れ施設が絶対的に不足している問題もあります。急性期の病院でも認知症への対応が課題になっています。他にも、救急車の出動状況やエイズ医療から見た病院と地域の連携など、多様な視点から居住支援と地域ケアの連携について議論が繰り広げられました。

どれも、医療・福祉の様々な現場からの貴重なご意見でした。

医療制度改革や介護保険、生活保護などをめぐる状況が変化していく中で、ケアが必要な人が十分なケアを受けられない「社会的退院」などの問題が切迫してきました。一つ一つの事業者で解決しきれない社会的問題は、地域のネットワークで乗り越えていくしかありません。懇談会のあとの懇親会は、普段はあまり交流する機会のない、働く現場の違う医療・福祉関係の専門家が一同に会して率直な意見を交わす良い機会となりました。

詳しい報告と今後の取り組みについては、新年度に特別号でお届けする予定です。

(馬場英夫)



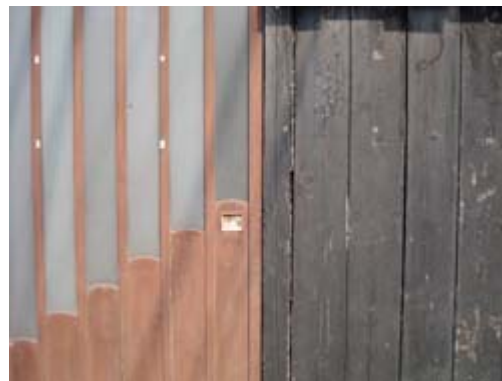
④ 桜井旅館開設準備中！

新芽が吹き出るのが楽しみなこの頃です。さてふるさとの中でも今春に向け様々な企画・アイデアが芽を吹き綻び始めるのを待っています。

その中のひとつ、母子宿泊所型就労支援ホームは現在近々の開設に向け準備を進めています。場所は墨田川沿いをのんびり散歩することができ、且つ静かな佇まいの街の一郭。シングルマザーへの就労支援と子供達と共に安心できる生活の提供をしてゆきます。

桜咲く頃を開設予定としています。お楽しみにお待ちください。

(佐藤信子)



⑤ 今月のボランティア

敬老室日曜開放の特別行事は、毎月第3日曜日に昼食会 & イベントを行っております。今月は、みんなで『みんなで春の歌を歌おう！』を行いました。利用者さん、ボランティアともに20数名が参加して、ボランティアで歌を披露して下さる美咲加代子さんのリードで、久々に参加された歌好きの利用者さんも交え、楽しく一緒に楽しみました。

来月は、4月20日日曜日は『春の遠足』を予定しています。近くの公園へお弁当を持って出かけ、野外リクリエーションなどを行う予定です。山谷に暮らす方々と交流することで山谷地域を知る機会にいただければと思います。料理自慢の方、、是非ボランティアとして参加をお待ちしています。9:30集合で15:00解散の予定です。

また、コメ、調味料、保存食品などは随時募集しております。

お問い合わせは下記まで、お気軽にご連絡下さい。

<連絡先>

城北労働・福祉センター分館『敬老室』03-3801-0377 (担当:町田)

メールアドレス：boranteahurusato@gmail.com

地域生活支援センター『すみだ』では、センター利用者の方々との『お花見』を予定しております。4月6日(日)11:00～14:00の予定で、山谷堀公園にてお弁当を食べ、カラオケを楽しもうと準備中です。ボランティアとして参加して下さる方を募集しております。9:00集合、オリエンテーションの後活動、15:00解散の予定。活動内容は、簡単な機材の設営、お花見の利用者さんのお話し相手などです。是非にぎやかに春の一日を楽しく過ごしましょう！参加ご希望の方は、必ず事前にご連絡下さい。また、集合時刻は厳守でお願いします。

<連絡先>

地域生活支援センター『すみだ』03-5819-3254 (担当:岡野)



発行元: 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会
〒111-0031 東京都台東区千束4-39-6
TEL: 03-3876-8150 FAX: 03-3876-7950
E-mail : hurusato@d5.dion.ne.jp
HP : <http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>